

5 補助制度について

木造住宅に対する補助金（旧耐震で2階建て以下の住宅が対象です）

① 耐震診断	床面積	費用	補助金	自己負担額
	200㎡以下	90,000円	80,000円	10,000円
	200㎡～300㎡	100,000円	88,000円	12,000円



令和7年度から
すべての補助金額が
拡充されているよ。



③ 耐震改修工事

全体耐震改修工事		部分耐震改修工事		耐震シェルター・防災ベッド設置	
補助金	補助率	補助金	補助率	補助金	補助率
最大 115万円	80%	最大 80万円	50% (高齢者等は80%)	最大 80万円	50% (高齢者等は80%)

木造住宅の耐震補助制度の詳細については
岡山市のホームページ（右記二次元バーコード）をご確認ください。



危険なブロック塀等撤去に関する補助制度について

「対象となるブロック塀について」

- 以下の条件を全て満たすものです
 1. 市内の存するもの
 2. 避難道路に面しているもの
 3. 高さが1m以上のもの
 4. 境界線からの距離<高さであること
 5. 危険なブロック塀等であること



「補助額について」

- 補助額は、以下①と②の額を比べて少ない額の2/3です。（上限額15万円まで）
 - ① 対象となる部分の撤去に要する費用（見積額）
 - ② 対象部分の「長さ×9000円/m」の額

危険なブロック塀等撤去補助制度の詳細については
岡山市のホームページ（右記二次元バーコード）をご確認ください。



昭和56年5月31日以前の耐震基準（旧耐震）で建てられた
木造住宅の所有者の方へ

耐震化のための 補助金のお知らせ



今後想定されている巨大地震で倒壊等の危険性が高いのは
昭和56年以前の基準で建てられた木造住宅です。
あなたのお家は大丈夫ですか？



木造住宅の耐震化には補助制度もあるよ。
耐震改修の補助金は令和7年度から
最大115万円に増えているよ！

お問合せ・申し込みはこちら

086 - 803 - 1445

岡山市役所 建築指導課 建築安全推進係

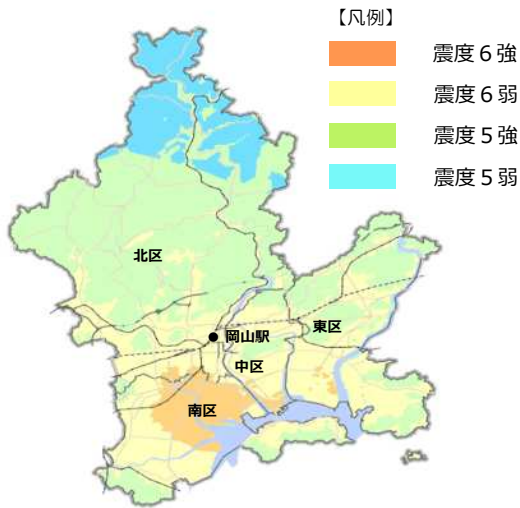
※補助金（予算）には限りがありますので早めの申請をお願いします。



1 巨大地震はいつくるかわからない

南海トラフ巨大地震が起こると
岡山市で**最大震度6強**の揺れが想定されています

南海トラフ巨大地震による震度分布図



- 震度分布図のとおり、市南部を中心に**市内全域で激しい揺れが想定**されています。
- 昭和南海地震（昭和21年12月）
 - マグニチュード8
 - 西大寺で震度6を観測
 - 4～10分近くの揺れ
 - 約1200戸の家屋が全壊



出典：気象庁HP 震度について <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/shindo/>

2 地震被害が大きい住宅とは

倒壊の危険性が特に高いのは**旧耐震の木造住宅**です

損傷度の基準

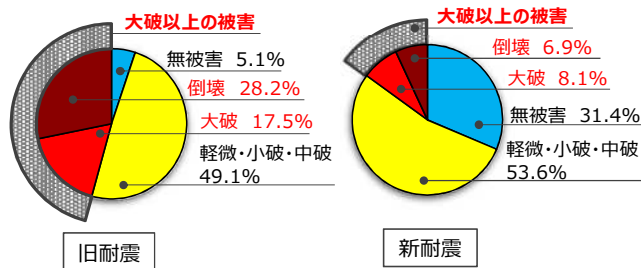
損傷度	無被害	軽微・小破	中破	大破	倒壊
状態					
傾斜	なし	なし	小 (1/60程度)	大 (1/20程度)	倒壊・崩壊
建物利用	可能	可能 (要点検)	可能 (要修繕)	困難	不可能

昭和56年5月31日を境に建築基準法の耐震基準が大きく変わりました。

- 旧耐震：昭和56年5月以前の耐震基準で建てられた建物
- 新耐震：昭和56年6月以降の耐震基準で建てられた建物

- 平成28年4月に発生した熊本地震では、益城町の中心部で**旧耐震の木造住宅に大きな被害が発生**

熊本地震における益城町中心部の被害（木造住宅）
（日本建築学会の全体調査より）



耐震基準	大破以上の割合
旧耐震	45.7%
新耐震	15.0%

- 大破以上の被害では使用が不可能あるいは困難
- 中破以下の被害では、修繕により再利用可能

3 地震に強い住宅にするには

ステップ①～③（補助）で地震に強い住宅にしていきます

① 耐震診断

- 専門家（木造住宅耐震診断員の資格を持った建築士）が現地調査を行い、住宅の耐震性の有無を確認します。

② 補強計画

- 耐震診断の結果、耐震性が無いと判断された住宅に対して、補強方法の検討を行います。専門家とあなたの住まいについて考えます。

③ 耐震改修工事

- 補強計画に基づき、柱、壁、基礎などの補強工事を実施します。

耐震診断は、人でいう健康診断のことだね。
健康診断の結果が悪かったら治療しないといけないね。



4 木造住宅の耐震改修補助とは

① 耐震診断



② 補強計画



- ①はお家の状況を調べている写真だよ。
- ②は専門家が補強の方法について説明してくれている写真だよ。

※写真はイメージです



③ 耐震改修工事

（※補強方法等は数多くあり、あくまで改修の参考例です。）



筋かい補強



構造用合板補強



金物補強



基礎補強

○その他の耐震改修工事

- 屋根の軽量化を含めたバランスの良い耐震計画
- 老朽箇所の補修による劣化度の改善 など